

有限会社岩井製作所

千葉県鎌ケ谷市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

若手後継者への事業承継による事業見直しを経て、歯科・医療分野で使われる極小部品と器機製造のスペシャリストへ

- 小回り幅と身体負荷を軽減させた革新性の高い内視鏡処置具の試作開発
- 国際医療機器展示会への出展により、海外展開への取組を進める
- 新代表取締役への事業承継とともに医療機器製品市場への参入を進めている

企業基本情報

所在地	千葉県鎌ケ谷市くぬぎ山 3-16-39
電話/FAX	047-384-3706/047-387-4391
URL	http://www.iwaiseisakusho.co.jp/
代表者	代表取締役 岩井 武巳
設立	1980年
資本金	500万円
従業員数	22人



会社概要

同社は1980年精密機械部品製造業として創業。鎌ケ谷市に拠点を置き、近隣大手メーカーの下請けとして部品受注を担ってきたが、メーカーの海外進出で大幅に売上が無くなったため、加工精度の高さを活かした歯科用機械の極小部品製造にシフト。直径1～5mmほどの部品や公差0.001など高精度水準が求められる極小部品などの生産を中心に受注を行い、とりわけ回転系刃物（ドリル等）の生産について強みとしている。



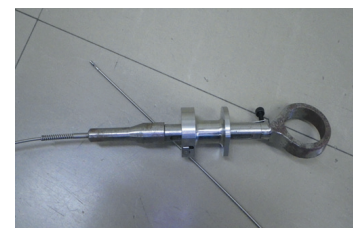
会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 施術者のユーザビリティ向上に貢献する手術用処置具の開発

2015年度に大学病院と共同し、内視鏡手術用処置具の開発に取り掛かった。本製品は既存製品に比べ、ワイヤや先端部分の小型化を図り、挿入時の患部接触などの身体負担を軽減する一方で、小回り幅が利き、施術者の患部見落とし防止や切除にかかるユーザビリティの向上に貢献する点に革新性を有している。

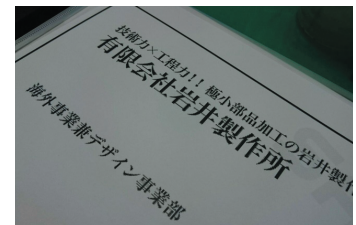
また、医療機器市場分野における安心安全への関心の高まりを背景に、既存のろう付けからレーザーによる溶接方法に技術転換し、金属表面部の剥離欠損を抑制する仕様を施している。



ワイヤ・先端部品の高精度加工による内視鏡処置具の小型化

▶▶▶ 東南アジアの医療機器市場をターゲットとした海外展開

新規採用を行った外国語人材を活用し、海外展開を志向して2016年より独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催した「タイビジネス商談会」、「マレーシアCEO相談会」へ参加。また、ASEAN最大級の医療機器展示会「メディカル・フェア・タイランド」に出展参加し、現地医療関連企業より歯垢取り機の製造につき成約。同社にて製造加工から滅菌梱包までの工程について受注。経済成長著しい東南アジア新興国を中心に、需要が高まる医療機器部品市場への参入に取り組む。



海外事業部門の設置

▶▶▶ 後継者が就任とともに医療機器製品市場への参入を本格化

金属製品製造業者の中でもφ16以下の極小部品製造を主力として、歯科・医療機器メーカーへの部品供給に応えられる事業体制が整っていたが、販路開拓や新規顧客への営業活動が低調で、特定メーカーへの売上依存が著しい状況にあった。

従前より父親である代表取締役から事業承継の打診を受けてきた専務（現代表取締役）は縮小傾向の部品市場と下請受注中心の事業環境に危機感を抱き、医療機器製品市場参入に向けた事業計画を策定し、2014年の就任とともに本格化させた。



新社長への事業承継と新事業参入